

お手入れの方法

ご使用後はいつでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れしてください。

- 本体(外装)** ①湯で薄めた台所用洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る。
②やわらかい布でからぶきする。
③本体の丸洗いは絶対しない。
- びん** ①揚水パイプをはずす。
②湯で薄めた台所用洗剤を柄のついたスポンジブラシに含ませ、静かに洗う。
③湯を入れ、軽く振ってすすぎ洗いを2～3回し、洗剤を洗い流す。
- 揚水パイプ** ①本体より取りはずし、湯で薄めた台所用洗剤に浸し、スポンジで洗う。
②水で十分水洗いをおこなう。
※リングパッキン・キャップパッキンははずして洗うことができます。
お手入れ後は、確実に取りつけてください。

揚水パイプの内部を洗う場合

① びんに湯で薄めた台所用洗剤またはクエン酸を入れ、プッシュを繰り返し押してください。
② 洗い終わった後は、びんに湯を入れ、プッシュを繰り返し押し、洗剤をよくすすいでください。

修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	処 置
■お湯が ●出ない ●出にくい	揚水パイプやパッキンが、はずれていませんか？	はずれていれば確実に取りつけてください。
	揚水パイプがつまっていますか？ 破損していませんか？	水道水を勢いよく流し込んでください。 破損していれば、新しいものをお買い求めのうえ、お取り替えください。
	給水ポンプが破損していませんか？  プッシュを押す。 ※プッシュが下まで軽く下がりますと給水ポンプが破損しています。	給水ポンプが破損(破れなど)すると必要な空気をびんに送り込むことができなくなり、注湯量が少なくなることがあります。 この場合は修理が必要です。お買い上げの販売店または当社のお客様相談窓口へお問い合わせください。
■お湯が さめやすい	上ぶたがきっちりとしまっていますか？ びんが破損していませんか？ 熱湯をほぼ満量入れ、20～30分後本体を手でさわってみてください。	きっちりしめなおしてください。 もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
■異臭がする	本体内部や揚水パイプに汚れが付着したり、飲料物を長時間入れたままにしていまなか。	ご使用後はきれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭がとれない場合はクエン酸をお使いください。

※保温キャップ・揚水パイプおよびパッキン類は消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を大さじ3杯程度加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、湯(水)以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の有効期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。
(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。
(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
MPS型 上ぶたセット
MPS型 揚水パイプ (リングパッキン付)
MPS型 キャップパッキン
MPS型 リングパッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口  0570-094891

●受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489

●FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
本 社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

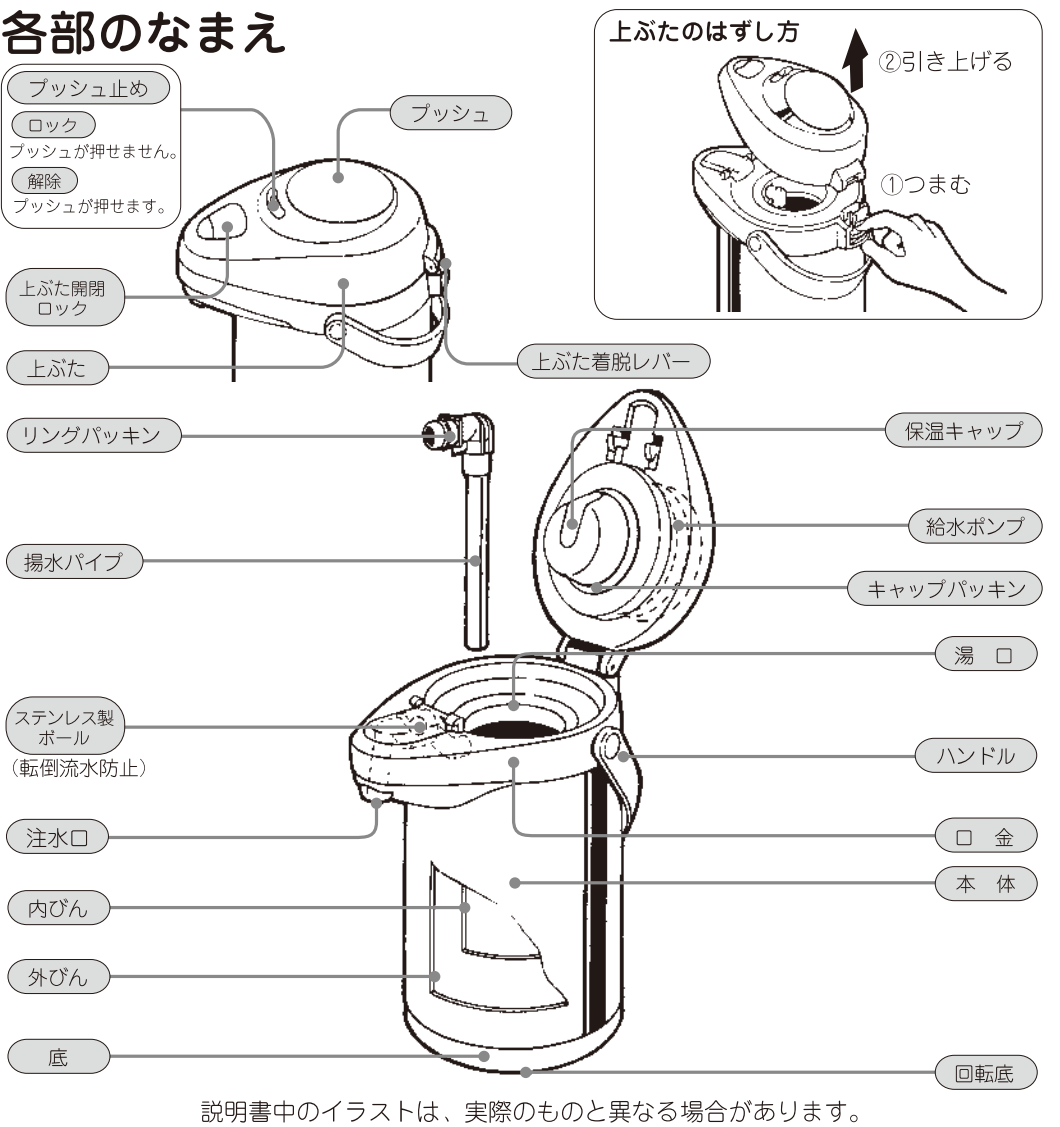
Peacock MPS

ステンレス製エアーポット

取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレス製エアーポットをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

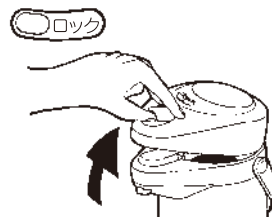
後々のため、この説明書を大切に保管してください。⑦

ご使用方法

ご使用前に内びん・口金・湯口・揚水パイプ
(取りはずしてください)は十分お手入れください。

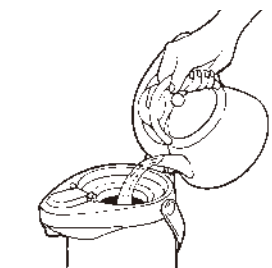
1 上ぶたをあける

- ①プッシュ止めを「ロック」にする。
- ②上ぶた前部の上ぶた開閉ロックを上方向に軽く引き上げ、上ぶたをあける。



2 湯(冷水)を入れる

- ①直接、びん内に湯(冷水)が落ちるように入れる。
※熱いやかんを口金に触れさせないでください。
※湯(冷水)の量は、湯口より約3cm少なめにしてください。
入れすぎると注ぎ口から吹き出ることがあります。
※保温(保冷)する場合は、あらかじめ少量の湯(冷水)を入れて1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。



3 上ぶたをしめる

- ①上ぶたをカチッと音がするまでゆっくり確実にしめる。



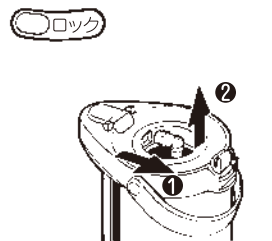
4 湯(冷水)を注ぐ

- ①プッシュ止めを「解除」にする。
- ②プッシュ中央を指先で押し注ぎ口より湯(冷水)を出す。
※必要量に応じてプッシュを反復操作してください。
※口の小さな器は注ぎ口に心持ち近づけてからプッシュを押してください。



5 注ぎ終わったら

- ①注ぎ終わったら、プッシュ止めを必ず「ロック」に戻す。



6 揚水パイプの取りはずし方

- ①揚水パイプの上部をつまみ①方向にゆっくり引き抜き、②方向に持ち上げる。
※氷を入れるときや、お手入れの際、取りはずせます。
※揚水パイプは取りはずさなくても湯(冷水)を入れられます。
※揚水パイプを取りつけるときは、根元までしっかり差し込んでください。



必ずお守りください

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲料物の保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。

やけど・けがなど危険。



次の物は絶対に入れない。

- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、ふたがあかなかったり、湯(水)が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- 牛乳・乳飲料・果汁など
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、湯(水)が吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- 果肉・お茶の葉など
もれなど故障の原因。



持ち運びは、プッシュ止めを必ず「ロック」にしてハンドル中央を持つ。

傾けたり横抱きしない。やけど・汚れの原因。



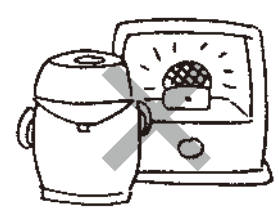
自動車に乗せて使用しない。

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。



こんな場所には置かない。

ストーブやコンロなど、火のそばや直射日光のあたる場所では使用しない。変形・変色の原因。



本体の丸洗いはしない。水が侵入し、サビや他のものを汚す原因。



倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃や振動(特に上下の振動)を与えない。

びん破損の原因。お湯が出てやけどのおそれ。



湯(水)の量は、湯口より約3cm下にする。



- 上ぶたは確実にしめて使用する。
- 内容物を入れたときは、横転させない。
内容物がもれることがあり危険。
- 湯(水)が少ないときはプッシュを強く押さない。
最後に注ぎ口から湯が飛び散る事がある。
- 残り湯(水)を捨てるときは、必ず注ぎ口を横に向けて捨てる。残り湯(水)が半量以上ある場合、注ぎ操作で少なくしてから捨てる。

注ぎ口が下に向いていると、注ぎ口から湯(水)が出て、やけどや他のものを汚す原因。



- 揚水パイプで氷をかき混ぜない。また、氷を入れた場合は、ポットを強くゆすらない。
中びん破損の原因。
- 本体・上ぶた・揚水パイプの煮沸および食器洗い乾燥機や食器乾燥機などの使用はしない。
傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。
窒息するおそれ。
- 改造や分解修理はしない。
故障や事故の原因。

ご注意とお願い

- 漂白剤・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。



- 熱いやかんを口金に触れさせない。傷・変形の原因。



- 大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。
傷・もれ・変形など故障の原因。



- 内容物を長時間保存すると腐敗するおそれ。
また生もの・乳飲料など変質・腐敗しやすいものの保温はやめる。
- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあるため、びんの中にはお湯を入れ、お茶のときは急須を使用する。
- 使用後は必ず揚水パイプ・パッキン類をきれいに洗う。
- パッキン類は必ずつけた状態で使用する。
- プッシュ操作後、注ぎ口からしずくが落ちることがあるが、(特に注ぎ口周囲が汚れてきた場合)そのときはしずくが落ち切るのを待ってから容器を取る。他のものを汚す原因。
- ステンレス製ボールは転倒流水防止弁です。
製品を振った場合にコココロと音が出ますが、故障ではありません。